

活発だった グループ協議

今回は近隣の地区ごとに6つのグループに分かれて協議を行いました。各グループには議員2名が加わりました。

A グループ



牟礼 当条 智徳 一條 藤田

- ・子どもの遊び場がない。小さな公園でもよいので下広川校区に公園が欲しい。既存の遊具も老朽化している。
- ・町を出た若者が戻らないのは、稼げる仕事がないからだと思う。
- ・牟礼区では、公式 SNS を作った結果、回覧板の回りが早くなった。若い人材の堀りおこしにも効果があっている。
- ・小学校を自由に選択できないか。

C グループ

久泉 増永 扇島 太田 吉里

- ・赤い羽根募金は、区費や隣組費でまとめて出しているところがあるが適切か。
- ・井堰のさぶたの管理は水利組合と思うが、行政区をまたいでおり責任がはっきりしない。誰でもが触れるわけではなく大雨の時は困る。
- ・新しい住民の方が増え、自治会活動を見直している。
- ・小学校校区の見直しはできないか。



B グループ



内田 草場 一応 六田
長延上 長延下

- ・河川が浅い。河川の浚渫をお願いしたい。
- ・水害の危険が迫っているときサイレンを鳴らして欲しい。
- ・ごみ問題でトラブルが発生した。15軒集まらないと新しいごみ置き場は設置できないと町は回答した。設置基準を緩和して欲しい。
- ・竹が田んぼに倒れかかっているが、所有者が地元にはいないため処理ができない。費用もかかるが区長の仕事か。